

平成28年度第2回みやま市教育委員会定例会会議録

- ◆召集日時 平成28年5月16日 午後3時30分
- ◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 第4会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 長岡 廣通
- ・委員 堤 央宜
- ・委員 早川 京子
- ・委員 井上 正明
- ・委員 権島 靖子

2. 欠席委員（なし）

3. 事務局出席者（13名）

- ・教育部長 大津 一義
- ・学校教育課長 加藤 武美
- ・社会教育課長 野田 圭一郎
- ・学校教育課課長補佐 甲斐田 裕士
- ・社会教育課課長補佐 古賀 富美子
- ・総務係長 吉川 春美
- ・学務担当係長 松尾 郁代
- ・学校給食担当係長 岡 俊幸
- ・学校再編推進係長 河野 成嗣
- ・指導室指導主事 江上 靖則
- ・指導室指導主事 伊井 和子
- ・教育研究所長 今村 田鶴子

4. 傍聴人

- ・1名

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について
- (4) 議案第2号 みやま市立学校の教務主任等の任命について
- (5) 議案第3号 学校評議員の委嘱について

- (6) 議案第4号 学校関係者評価員の委嘱について
 - (7) 議案第5号 みやま市教育研究所管理規則の一部を改正する規則の制定について
 - (8) 議案第6号 みやま市社会教育委員の委嘱について
 - (9) 議案第7号 みやま市公民館運営審議会委員の委嘱について
 - (10) 報告事項
 - (11) 次回教育委員会について
-

【午後2時00分 開会】

【教育長】 新学期以降桜舞館をはじめ、市内小中学校ほぼ円滑に進んでいる。昨日は5校の小学校で支館との合同運動会が開催され、地域の方との交流を図りながら和気あいあいと競いあっていた。裾野教育を展開する中で、運動会は大きなチャレンジ体験の機会であるので、今後も子ども達への挑戦の意識づけを明確にしてチャレンジ精神を育成するよう指導していきたい。

4/19小中一斉に全国学力・学習状況調査を行った。これまでも南筑後管内では上位であったが、学力については大切なみやまの力の一つであり、これまで以上の結果を期待している。

社会教育においては、4月5月に各団体の総会が催された。文化面・スポーツ面・公民館において、大きなイベントは市制10周年を掲げて事業を行っていただくようお願いしている。現在みやま市の社会教育は非常に活発であるが、一方で課題である指導者の確保・参加者の拡充については、市制10周年のイベントを一つのきっかけとして、さらに充実して頂きたい。

ただいまから、平成28年度第2回みやま市教育委員会定例会を開会いたします。これよりただちに本日の会議を開き、議事日程に従い議事を進めてまいります。

○日程第1 第2回みやま市教育委員会定例会の会期は平成28年5月16日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は総務係長吉川春美とする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については教育長と早川京子委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 議案第2号

○みやま市立学校の教務主任等の任命について

【学校教育課長】－提案理由の説明－

【教育長】 ・質疑等ございませんか。

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいですか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第5 議案第3号

○学校評議員の委嘱について

【学校教育課長】－提案理由の説明－

【教育長】 ・質疑等ございませんか。

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいですか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第6 議案第4号

○学校関係者評価員の委嘱について

【学校教育課長】－提案理由の説明－

【教育長】 ・質疑等ございませんか。

【井上委員】 ・二川小学校の学校関係者評価員に1名住所が福岡市の方がいらっしゃるが。

【学校教育課長】 ・事情を把握していないので、学校の方に確認して後程説明させていただきたい。

【井上委員】 ・了解した。

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいですか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第7 議案第5号

○みやま市教育研究所管理規則の一部を改正する規則の制定について

【教育研究所長】－提案理由の説明－

【教育長】 ・質疑等ございませんか。

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいですか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第8 議案第6号

○みやま市社会教育委員の委嘱について

【社会教育課長】－提案理由の説明－

【教育長】 ・質疑等ございませんか。

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいですか。
「異議なし」

・・・可決

○日程第9 議案第7号

○みやま市公民館運営審議会委員の委嘱について

【社会教育課長】－提案理由の説明－

【教育長】 ・質疑等ございませんか。

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいですか。
「異議なし」

・・・可決

○日程第10 報告事項

○教育部長

【教育部長】 ・熊本地震に係るみやま市の対応について（みやま市において災害対策本部11回開催、4/19合志市への支援物資提供、救援物資・義援金受付、人的支援等。）。

・前回の定例会以降のイベント（県内や教育事務所管内の教育長会等の総会をはじめ、市内各小中学校PTA、支館等の総会、生涯学習関係の各学級の開講式等が開催され、教育長・関係職員が出席。県の教育長会は堤委員が教育長の代理で出席。昨日の5つの小学校の運動会への出席お礼。APCC受け入れ（今年はラオスから）やレインボーソフト九州大会など教育委員会が主催するイベント等の準備も無事にスタート。租税教室の開催に係る協議、4/19全国学力・学習状況調査、4/26教育部内の係長会議を開催、教育施策に係る当面の課題解決のポイントについて議論。）

・今後の予定（6月市議会6/14～6/24上程議案や一般質問については来月の定例会で報告。中学校、小学校で運動会が開催予定。5/19全国教育長会。5/21桜舞館小落成式、5/26管内学校管理職歓送迎会、5/30瀬高ライオンズクラブと共催『九響コンサート』、6/3高田中学校学校訪問。有明新報に市内の小中学校の紹介記事が週1回順次掲載、初回は6/3本郷小。）

【早川委員】 ・熊本地震により2名の児童をみやま市の小学校へ受け入れているとのことだが、親類を頼ってか。期間はいつまでか。

【教育部長】 ・お母さんの実家を頼って母子でみやま市に来ている。期間はまだ分からないが、被災を理由に準要保護就学援助費の支給対象とし、給食費などを補助する予定である。

【学務担当係長】 ・報告が遅れたが、本郷小の生徒については一定の居住地が確保出来たことから、先週熊本に戻っている。

○学校教育課長

【学校教育課長】 ・6月議会に提出予定の補正予算2件について報告。①平成28年度学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する研究調査に伴う補正、国からの委託費は309,000円。②桜舞館スクールバス委託料のうち燃料費を需用費に組み替える。
・6月の教育委員会終了後に不祥事防止対策検討委員会を開催する。

【樺島委員】 ・学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する研究調査とは具体的に何をするのか。

【学務担当係長】 ・昨年度は二川小学校を中心に学校司書と司書教諭の連携した授業研究を行ったが、今年度はみやま市全体の小中学校で図書館教育を推進していく。5月30日に研究所長、指導室、図書館教育担当教諭、学校司書からなる事業推進委員会を立ち上げるので、スケジュール含め具体的にはその後になる。昨年度中から話は出たが、今年度になって正式に文科省の許可が下りたので、6月の補正をお願いするものです。

【教育長】 ・一昨年私が文科省へ直接伺い依頼し、昨年から行っている事業である。裾野教育の中で図書館教育を下庄・二川だけでなく全体に広げていきたいというところから、①図書館協議会組織の改善②司書の先生方の力量向上③図書館教育の内容について、主に下庄・二川の実践例の普及・啓発を考えている。総合計画にも挙げているが、子ども達の読書量を確実に上げていきたい。

【井上委員】 ・これについて、事業実施計画書があるのなら、資料を頂きたい。

【学務担当係長】 ・承知した。

- 【樺島委員】 ・ 市立図書館を利用しながら高めていくといった考えはないのか。
- 【教育長】 ・ 市立図書館は3月臨時会で提案した「子ども読書活動推進計画」に基づき推進していくが、基本的に学校は学校で頑張っ、子どもが学校の図書館に通う回数を増やす、次に読む量を増やす。下庄も実践3・4年目から市立図書館との連携を始めた。それを確認しながら市立図書館は「配本セット」やイベントで土日の支援等が出来る。家庭読書は学校・市立図書館両方から推進する。
- 【学務担当係長】 ・ 資料P2-3 特別支援員等配置状況説明。平成28年度の主要施策に人的支援を掲げて重点的に予算配分し、今年度30名の配置をしている（昨年20名）。
- 【樺島委員】 ・ 桜舞館小学校の少人数教育支援員は、何年生につくのか。
- 【学務担当係長】 ・ 一つの学年ではなく桜舞館全体への配置で、主に低学年に入っただけ予定。
- 【教育長】 ・ 少人数教育支援員と、中学校の少人数指導体制整備特別教員の勤務条件の違いを簡単に説明してください。
- 【学務担当係長】 ・ 少人数教育支援員はあくまで支援員なので担任は持たない。中学校の少人数指導体制整備特別教員は、県費職員と同じ待遇で担任も受け持つ。
- 【井上委員】 ・ どういった経過で昨年より配置人員が増員されたのか。
- 【学務担当係長】 ・ 「もの」から「ひと」への考えの中で、どのような人的支援を必要とするか、学校への聞き取りの結果出てきたのが「スクールソーシャルワーカー」と「支援員の配置」であったため、「もの（備品等）」からシフトしたものだ。
- 【井上委員】 ・ 昨年の中学校の少人数指導体制整備特別教員の成果はどのようなものであったか。
- 【学務担当係長】 ・ 例えば今年度高田中学校1学年115名、通常であれば3クラス。4クラスになり、一つのクラスの人数が少なくなることで、きめ細かな指導・配慮が出来やすい。学力向上につながるものが成果

であろうが、中々短期間で表れるものではない。

- 【井上委員】** ・通常このような増員は課題を抱えている場合が多く、成果が上がったから増員、減員との判断も難しい。教育の成果を示すのは難しいが、どこかに根拠を持っておかないと予算的な部分で難しいのでは。特に中学校教育が沢山の課題を抱えていることは、私個人の認識だけでなく地域の声も聞くが、その辺はどうなのかと思う。
- 【学務担当係長】** ・配置した以上、年度間学校訪問等を通して成果を確認していくつもりである。中学校における成果として、少人数でのクラス編成は、不登校などの兆候に早く対応しやすいという点もあり、学力だけでなく、3年間の子どもの学校の生活を支えるという観点からも期待し検証していきたい。
- 【教育長】** ・昨年12月に、室長と担当指導主事が学力調査に特化して4校の臨時学校訪問を行っている。学校側は「指導がしやすい」「子どもに目が届きやすい」といったことで要望するが、ある程度説明できる数値が要ること、成果が出なければ支援配置を止めることも話している。学力調査の結果は一つの大きな指標であることから是非向上させていただきたい。
- 【学校給食担当係長】** ・全小中学校・給食センターの衛生管理巡回指導（6/12-23）について
- ・給食センターでの調理器具の刃こぼれにより、当日のサラダの提供を中止し、点検強化を指導。
- 【学校再編推進係長】** ・平成29年度から本郷小学校が下庄小学校に編入することが方針として決定したことについての経過、その後の各方面への報告などの対応について報告。
- 【学校教育課長補佐兼施設係長】**
- ・5/21 桜舞館小学校開校式ご案内。
 - ・吊り天井対策工事施工の件。
 - ・熊本地震による学校施設被害の報告。
- 【堤委員】** ・給食センターの刃こぼれはどの程度のものなのか。

【学校給食担当係長】・プラスチックの留め具に刃が付いていたと思われる部分があった。
5ミリ四方位の刃が一本あったらという程度で、作業前にあったのかなかったのか、事前の確認が不十分であった。

【堤委員】 ・機械自体の仕様があるはずで、それに沿って調べればわかるのでは。

【教育長】 ・今後は器具の点検を含め徹底したい。

【井上委員】 ・関わる資料（写真）があるのであれば提出してほしい。

【学校教育課長】・承知した、次回からも資料の提出は徹底したい。

【早川委員】 ・熊本地震において、小中学校が避難所として使えなかったという例があったようだが、みやま市において全校の点検をするような予定はあるのか。

【学校教育課長補佐兼施設係長】

・平成21年度に耐震調査を行い、工事を完了している。今回は当時建築基準法に規定されていなかった特定天井吊り天井について対策工事を行う。現在のところ全校点検を行う予定はない。以前学校カルテ（修理歴や緊急性）の予算を要求したが叶わなかった。平成28年度の重点施策としているカルテは、手作業での過去の修理記録のみ。熊本県でも耐震対策は行なわれているので、想定外の地震であったとは思う。

【教育長】 ・みやま市は、他に先駆けて耐震対策を行ってきている。予算の面はあるが、検討していきたい。

【江上主事】 ・資料P4-5 学校訪問（修正）について。
・P6 高田中学校学校訪問について

【伊井主事】 ・適応指導教室「さくら」について、4月に全小中学校を訪問したが、現在入室者なし、相談は4件。今後はスクールカウンセラーと連携して、不登校児童生徒の入室を促進する。

【教育研究所長】・資料P8-9 平成28年度みやま市教育研究所事業計画について説明。

◇社会教育課

【社会教育課長】・10月全国社会教育研修大会（開催：千葉県）において、みやま市社会教育員の会が県を代表して実践発表を行う。

・B & G財団主催のアドバンストインストラクター研修会（6/2～32日間）に文化スポーツ推進系の職員が1名参加予定。

【教育長】・委員さんから何かないか。

【井上委員】・4月の定例会でみやま市の小学校から私立の中学校へ進学する生徒の数を報告してもらった。具体的には瀬高中学校についてその後対策をされたのか。課題を明確にして方策を具体的に進めていく必要があると考えるが如何か。

【教育長】・瀬高中学校の改革については①管理職人事（今年度は意図的に小・中学校校長経験者を校長に据え、人間関係調整能力・教科指導力の高い教頭を配置した。）②県の学力向上に関する重点課題指定（瀬高中学校改革の大きな戦略として今年で2年目。瀬高中学校だけでなく、校区小学校全部と一緒に研究を行うことで、小中9年間を通して、学習習慣・学力・学び方を向上させていきたい。）③小中学校大連携（各4中学校区における小中連携は過去にも行ってきているが、ここ数年の課題解決に向け4中学校区の大連携を行う。素案が出来次第、教育委員さんにご意見を頂きながら着実に進んでいきたい。）を軸に、3年計画で考えている。みやま市立中学校の魅力アップというスローガンの元に、瀬高中学校を含めた全中学校の今後の成果については、広く発信していきたいとも考えている。

【樺島委員】・組体操を中止した学校はあるか。

【教育長】・文科省の通知があり検討したが、安全確保は十分に留意しながらも、大切な鍛える場面でもあることから、私としてはやってほしいと思っている。学校長の判断に委ねたが、結果的には中止した学校はない。

○日程 11 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 平成28年6月13日（月）午後2時00分～

【午後4時52分 閉会】